

学

年

通

信

令和3年5月号
3学年発行

弓道部団体優勝！ 春季大会各部健闘中！

だんだん温かくなり、畑のキャベツにも虫が付きだし穴だらけ、ブロッコリーは一生懸命に花を咲かせようと頑張っているけど、負けじとその芽を積んで食べています。いったん花を咲かせてしまえばもう芽は出なくなるらしいです。学校の周りでもツツジの花がぽつぽつと咲き始め季節の移り変わりを感じます。

さて4月末には、たくさんの運動部が春季大会を行いました。まだ現在も大会期間中の部もありますが、ほとんどの部が素晴らしい頑張りを残してくれています。特に弓道部は団体優勝を収めるなど、これから6月の高校総体・総文に向けて学校に勢いを与えています。しかし世の中はまだまだ不安定な状況で、福井県などでは春季大会が全競技中止になったと聞いています。東京・大阪などの4都府県が緊急事態宣言を発令し、最大限の警戒態勢となっています。私たちもGW期間中はまだまだ感染予防に努め生活をしなければいけません。

【今月の目標】

- 定期考査に集中
- 部活動に集中
- 感染予防



【今月の人】

鈴木 健吾さん

暑さに強く、パリ五輪での活躍も期待される新たなマラソン界のエースが誕生した。自己ベストを5分以上更新して日本記録も大幅に塗り替え、陸上界に新たな扉を開き「これからもコツコツと、このタイムにおごらず走っていきたい。」と謙虚に語った。

全国高校駅伝に出場したという父の影響で小学6年から陸上を始めた。愛媛・宇和島東高を経て、小柄ながらリズム良く走る姿を評価され神奈川大に進学。東京箱根往復大学駅伝には4年間出場し、主将も務めた。与えられた練習をクリアできないと大泣きするほどの真面目さ。一日に2時間のジョギングを3度行い、食事の時間に遅れることもあった。大後栄治監督は「(練習を)止めるのが大変な選手。まさしく背中中で引っ張った主将だった。」と振り返る。3年時にエース区間の2区で区間賞に輝き「4年でマラソンに挑戦したい。」との思いが芽生えた。予定通り初レースに挑んだが、富士通に入社後は股関節などの故障に苦しめられた。「大学ではだいぶ持ち上げられていたが社会人になってまじまじと厳しさを感じた」と言う。翌年のびわ湖毎日マラソンでも12位の悔しさを味わい、出直しを誓った。富士通の仲間と東京五輪代表の中村匠吾との合宿でも2時間ジョギングする姿は同じだ。福島正監督は「継続する力が強み」と評する。鈴木は「パリでは絶対(代表を)決めようと思っている」と力を込める。(北國新聞より抜粋)



【5月のおもな行事】

- ・11日(火) 1学期中間考査割発表
- ・12日(水) 小論文模試(7限)
- ・18日(火)～20日(木) 1学期中間考査
- ・20日(木) 総体・総文壮行式
- ・27日(木)～29日(土) 陸上部総体
- ・29日(土) 商業部競技大会